

## 展示会出展報告

嶺田 希\*

Nozomi Mineta

「構造物の予防保全の為の評価からソリューションを提案する I I C」と題して、2005年11月15日～18日の44日間、東京ビッグサイトにて開催された「非破壊評価総合展2005」（日本非破壊検査工業会主催で隔年開催）に出展した。同展示会は、「メンテナンス・テクノショー2005」、「第25回 INCHEM TOKYO 2005」との同時開催でもあ

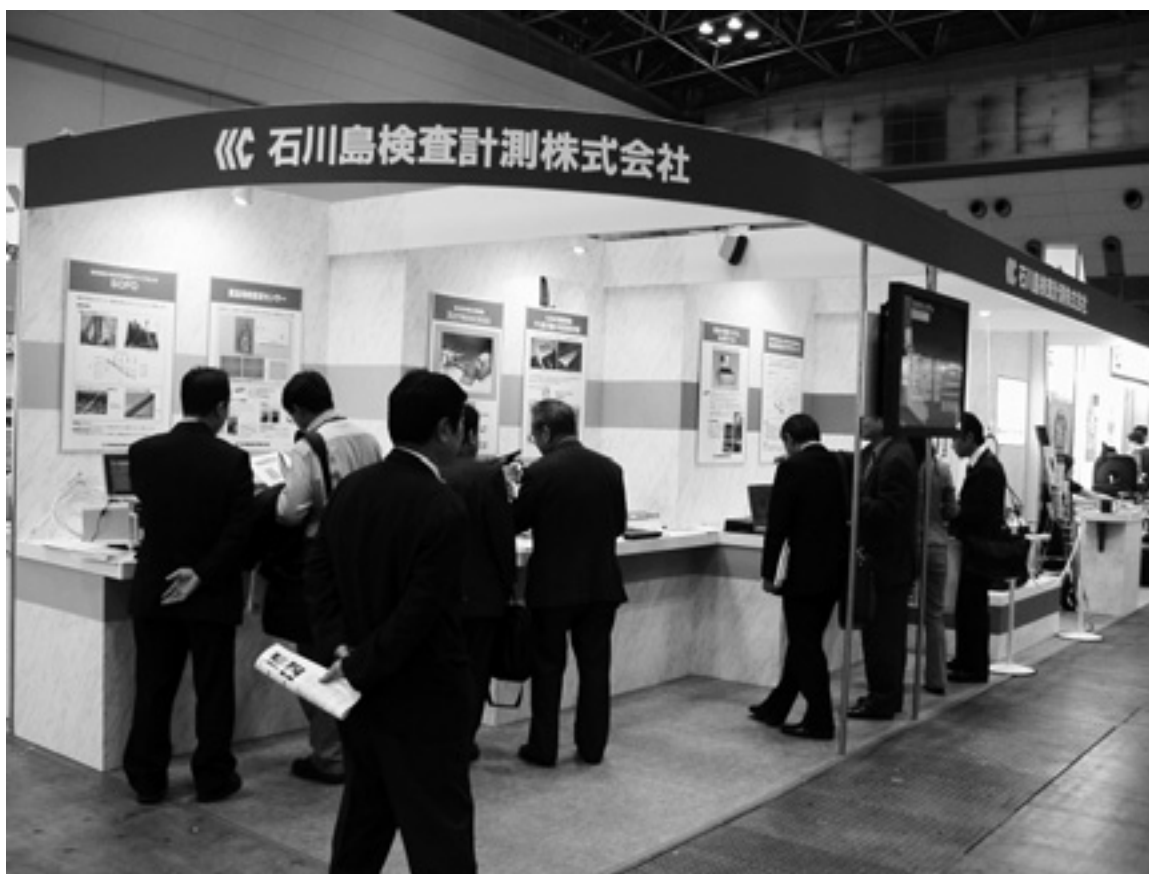
り、多数の来客があった。主催者側の発表では、会場の総入場者数は126,796人であり、その中で非破壊評価総合展2005の来場者数は7,688人とのことであった。

昨年度のメンテナンス・テクノショーでの I I Cブースへの来場数（名刺受領数176名）を上回り、出展先変更は正鵠を得たものであった。



	非破壊評価総合展 2005
開催期間	11月15日(火)～18日(金)
場所	東京ビッグサイト
主催	日本非破壊検査工業会
テーマ・主な出展物	検査機器
IIC 出展物	SOFO Dynamic、LIMA-test X線応力測定器、AE装置 SCC試験片、他

\* 営業統括部



説明時の様子

今回の出展物は次の7点で、①初出展となったSOFO Dynamic（光ファイバーを利用した動歪測定装置）、②球形タンクのモデルを使用したAE装置のデモ、③鋼管柱を使用したLIMA-test（街路灯地中埋設部の腐食検査装置）、④X線応力測定器の動作デモ、⑤SCC（応力腐食）試験片、⑥高

温センサ、⑦MsS方式ガイドウエーブ（パネルのみ）を出展した。

来場者の関心が高いものはLIMA-test、X線応力測定器3000、AEで、これは動的な展示品に関心が集まるためであろうと考えられる。



営業統括部  
嶺田 希

TEL. 03-3778-7925  
FAX. 03-3778-7952